



**虫の季節です**

**各事業所やフロアーに掲示**

## **永 寿 会 通 信**

### **黄色い飛行船 第13号**

2016年 7月20日

虫たちの夏！

今の季節、田んぼにはカエルになる直前のオタマジャクシが一杯ですし、それを狙って水鳥や蛇類が集まってきています。また、木々や野草等栄養たっぷりの青葉を求めて虫や昆虫の幼虫があちこちにいます。初夏の野辺は豪華なバイキング会場のようです。

昨今、好き好む必要はありませんが、若い方特に女性は虫嫌いの方が多いようです。先日、あるテレビ番組で、虫が大嫌いなママと少し関心がある子供との家庭で如何したら一緒に慣れるようになるかのトレーニングの課程が放映されていました。

虫の動きや色に関心を持ち、可愛く思うようにすると慣れてくるらしいです。そうすることで子供さんとの交流や共有する感情を生み出すことが出来て、世界が広がるということになります。

法人が運営する「湘南まるめろ保育園」の園児達は里山や野菜畑での活動が大好きです。畑では地中にあるカナブンの幼虫やダンゴムシを捕まえて夢中になったり、里山では青虫やトカゲ、沢蟹、シュレーゲルアオガエルを捕まえて大威張り、逞しい限りで、引率の保育士さんも負けています。

法人としては将来を担う園児達には是非色々な環境体験を通じて視野の広い、逞しい人材に育てて欲しいと思い、そのため、野菜作りの準備や里山の整備に努めています。少しでも役立てば嬉しい限りです。地球上に生存する生き物は多種多様ですが、都市化や温暖化、人類の膨大な占有の中で、他の生物はマンモスや日本の朱鷺、カワウソのように絶滅したり、限りなく減少しています。人類にとってどうなのでしょう？

私の小さい頃は、カブトムシやクワガタ、色々な蝶、トンボ等が飛び交い、夏は心ときめく季節でした。何か寂しい限りです。

もう一つ気になるのは、外来野生動植物が跋扈し、在来種が駆逐されていることです。

近隣の引地川には捨てられたミドリガメが大型になり蠢いていたり、アライグマやハクビシン等により本土タヌキは放逐され、蛇やトカゲは彼らの餌になっています。

ペット好きの職員皆さんは是非とも飽きたら野外や川、道端に捨てないで頂きたいと思います。魚類や動植物、甲虫類等の多様性はしっかり守っていきましょう。

以 上